

壁厚サニタリー収納

Sanita サニタ

洗面収納ボックスAタイプ

施工説明書

必ずお読みください

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL (087) 806-3660	FAX (087) 825-3645
	中部営業チーム	TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前のご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取扱を行った場合については当社での保証はしかねますのでご注意ください。

使用上のご注意



屋外禁止

内装専用の製品です。
屋外での使用はできません。



水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる
場所や湿度の高い場所での
使用はしないでください。



溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付
着しないようご注意ください。
付着した場合はすぐに拭き取
ってください。放置するとシミ・
変色・劣化の原因となります。



反り・ねじれ厳禁

躯体に使用する木材は乾燥
材で垂直な物を選んでご使用
ください。



火気厳禁

木質製品です。火気の取り
扱いには充分お気をつけ
ください。



キズ注意

施工時に部材表面をキズつけ
ないようご注意ください。

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

製品名：壁厚サニタリー収納 サニタ

洗面収納ボックスAタイプ

製造者名称：南海プライウッド(株)

発散区分：F☆☆☆☆

住宅部品表示ガイドラインによる

ロット番号：製品梱包に記載

-構成材料-

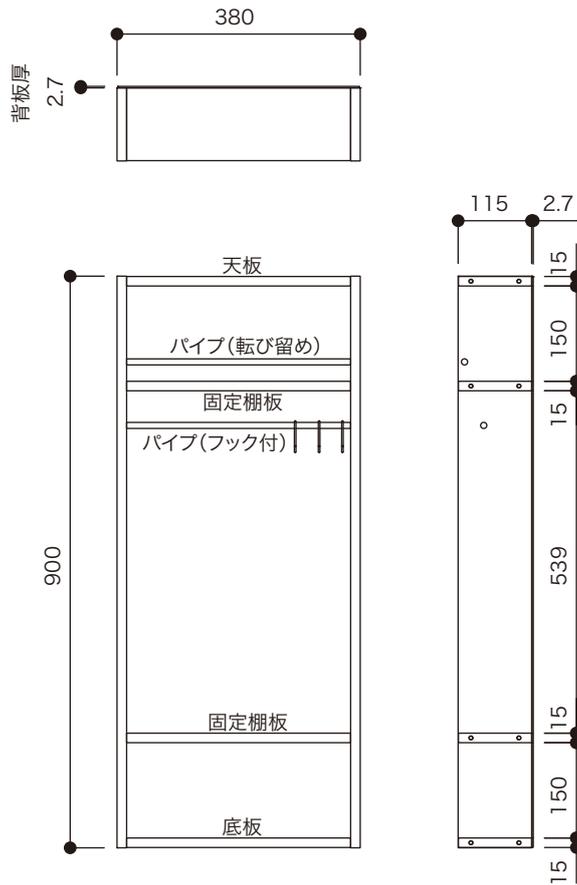
内装仕上部分	
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

ご注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先：品質管理チーム 087-894-8025

詳細図

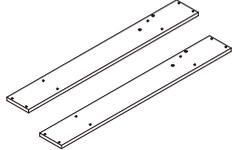
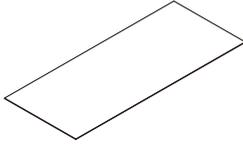


仕様表

ボックス
基材=芯材：集成材 表面材：MDF 表面：オレフィンシート
パイプ
ステンレス
フック
ステンレス

部材表

部品には万全を期しておりますが、開梱時には下記の部材・部品一覧表を参考に部材・部品の数量をお確かめください。

天板・底板・固定棚板	側板	背板	パイプ	フック
天板×1 底板×1 固定棚×2 				
4枚	2枚	1枚	2本	3個
ビスキャップセット スリムビスL=65 ビスキャップ(白) ワッシャー 				
4セット				

施工に必要なもの

施工に必要な道具

- 電動ドライバー
- タッカー
- プラスチックハンマー
- ドライバー

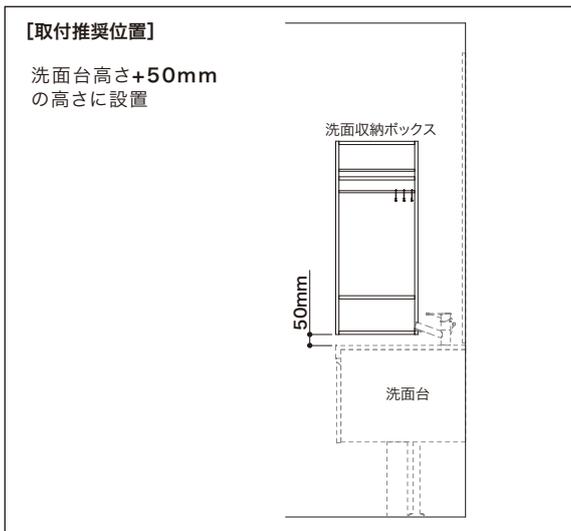
施工に必要な材料

- タッカー(ステーブル幅4ミリ)又は釘
- 接着材(酢ビ系木工用)

施工前の準備

本体設置場所の決定

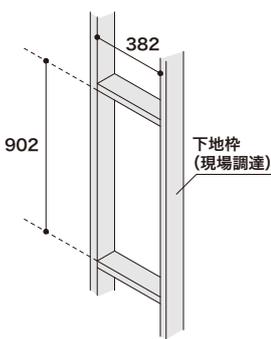
本体設置場所を[取付推奨位置]を参考に決定します。



下地の確認

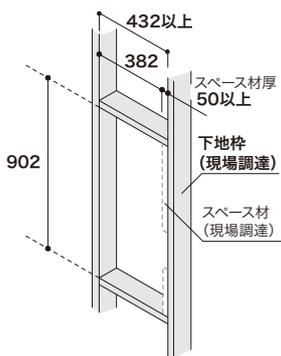
コンセントを取り付けない場合

本体設置場所に下地枠(現場調達)を取り付けます。

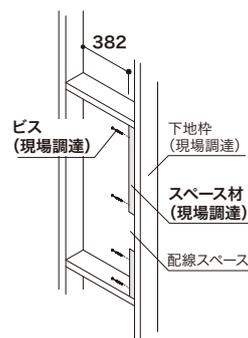


コンセントを取り付ける場合

① 本体設置場所に下地枠(現場調達)を取り付けます。



② 配線スペースを確保するため、本体幅に合わせてスペース材(現場調達)をビス(現場調達)で取り付けます。

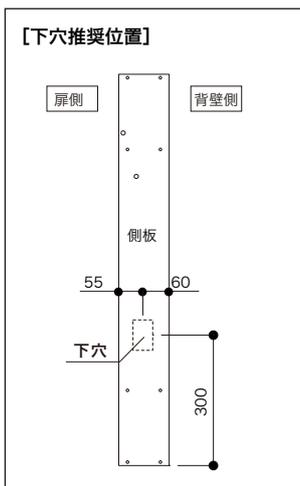


注意 ●下地枠の垂直・水平を下げ振りや水準器でご確認ください。 ●「据え置き」「直付け」での施工は行わないでください。

施工手順

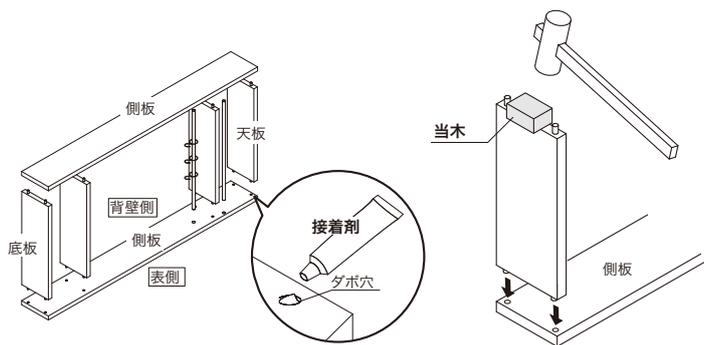
1 側板の加工 (コンセントを取り付ける場合のみ)

側板に、設置するコンセントの指定するサイズの下穴を開けます。



2 本体の組み立て

- ① 水平な場所に側板を置き、ダボ穴に接着剤を塗布し天板・固定棚板・底板を当木として挿入します。転び留め用パイプと、フック付パイプを側板の下穴に挿入します。その後、もう一方の側板も同様に、挿入します。
※天板・固定棚板・底板に仕様の違いはありません。また、裏表も違いはありません。



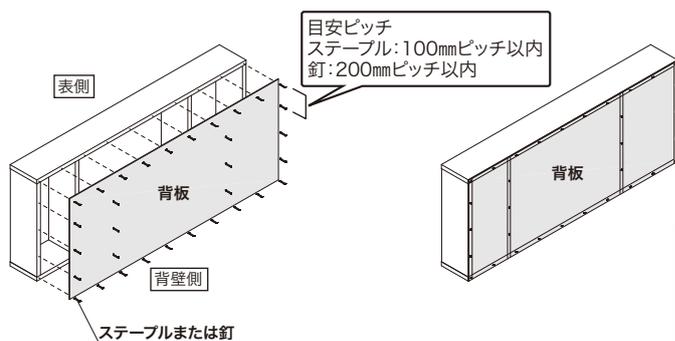
注意

本体の組立時には必ず当木を使用してください。

注意

- フック付パイプは、必ずパイプにフックを通した状態で挿入してください。
- フックの引っ掛け方向が表側になるようご注意ください。
- パイプを側板に挿入する際、接着剤を塗布する必要はありません。

- ② 背板を本体(側板・天板・固定棚板・底板部分)にステーブル(現場調達)または釘(現場調達)を本体背側から打ち、固定します。
※ステーブルは100mmピッチ以内、釘は200mmピッチ以内での固定が目安です。

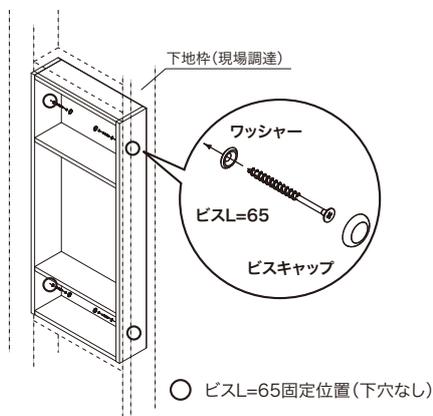


注意

- エア圧が強すぎたり、ステーブルが深く入りすぎたりすると、ステーブルが背板を貫通し、背板が取り付けられない場合があります。必ず背板取り付け前に、タッカーのエア圧、深さの調整を行ってください。
- 本体の設置後は背板は固定できません。背板が十分に固定されていることを確認してから設置を行ってください。

3 本体の取り付け

本体設置場所に取り付けた下地(現場調達)内に本体を設置します。設置後、本体内部よりビスL=65で下地枠(現場調達)・スペース材(現場調達)に固定し、ビスキャップを取り付けます。
※コンセントを取り付ける場合は、設置するコンセントの指定する手順に従って取り付けてください。



注意

ボックス組立て時の接着剤が完全に乾燥してから本体を下地枠に固定して下さい。